

神奈川県立相模原支援学校における学校運営協議会開催結果

本校の学校運営協議会を次の通り開催しました。

審議会等名称	令和8年度 神奈川県立相模原支援学校 第1回学校運営協議会		
開催日時	令和8年6月2日（火）13:45～16:00		
開催場所	相模原支援学校 実習棟 2階 多目的室		
出席者	学校運営協議会委員7名（2名欠席）、本校職員：事務局12名		
次回開催予定日	令和8年10月6日（火）を予定		
問合せ先	神奈川県立相模原支援学校 副校長 杉山 恵一郎 電話 042-778-0818 F A X 042-778-4957		
下欄に掲載するもの	議事録	公開を概要とした理由	
審議・会議経過	<p>（事務局）配付資料の確認、委員・事務局の自己紹介</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 会長選出、会長・学校長挨拶 2 学校運営協議会について、日程、協議内容について副校長より説明 3 協議（意見等） <p>【防災部会の設置について】</p> <p>○副校長：今年度は学校評価部会と切れ目ない支援部会と新たに防災部会を設置し、防災・安全管理等について、校内体制や備品整理、地域・行政との連携を整理し児童・生徒の安全を確実に守る体制を構築していきたい。また、委員の方全員で学校評価部会と、部会ごとにメンバーを分け、切れ目ない支援部会、防災部会の活動について協議していきたい旨の説明と提案。</p> <p>○会長：補足説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度の夏に避難訓練を見学した。学校単独開催は限界がある。震災の時に地域の方々も福祉避難所として、ここに避難されてくる。自治会や公民館との連携をとることや行政との連携をきちんととった方がよいのでは、ということが昨年度にも協議された。 ・相模原市が特別支援学校3校と連携が必要。防災のことを考えるということは地域との連携と一緒に考えたい。 <p>○各委員からのご意見等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館は、大雨の時の一時的避難になっている程度。地域全体では防災に関して意識が高いと思う。防災まつり単独ではなく地域全体で関わったほうが良い。地域において、特別支援学校というところの認知が低いと思う。 ・自治会が中心になって取り組む。自分たちで考えていく必要がある。麻溝地区では、「おもしろ防災まつり」を通して、意識が高まっている。公立の小中学校との関わりがあるが、支援学校に通っている児童生徒は、生活する地域が広いので、関わりが薄くなってしまう。お互いに様子を見ていければと思っている。 <p>⇒防災部会の設置及び部会メンバーについて承認。</p> <p>【学校評価部会】</p> <p>○副校長：令和7年度学校評価報告書（実施結果）について、視点1～5の成果と課題を報告。</p>		

○有識者：補足説明。

- ・個別支援教育目標のプロセスを本人や保護者に共有して策定し、合意を得た方がよいと意見を述べた。
- ・通学支援について、将来の社会生活を考え、スクールバスの通学でも途中下車して、自力で歩いて登校できるよう経路を変えたり、雨の日に傘をさして歩いたり等の教育環境を整えてもらった。
- ・個別教育計画書に本人の思いや願いを踏まえた内容を取り入れ、授業改善とともに一体的に進めてほしい。福祉では、自己決定を大切にしている。学校生活の中でもそこを意識していけると良い。

○委員からのご意見等

- ・自己決定の際の本人の合意について、難しい子はどのような形でとっていくのか？

☞・本人なりのやり方で合意を得ることが大切。

○校長：学校目標の方向性について

- ・本校がめざす学校の姿として、子どもたちが毎日安心して学べる学校、そして、教職員も安心して元気に働ける学校でありたいと考えている。
- ・現在、学校にはさまざまな状況の教職員が在籍しており、育児や介護といったライフステージにある者、異動により環境が変わった、特別支援教育が初めて、また、育児休業から復帰した、新規採用者、他校種からの人事交流など、多様な背景を持つ教職員が共に働いている。そのような中で重要になるのは、働きやすさと働きがいの両立であると考えている。安心して働ける環境があるからこそ、教職員一人ひとりの力が発揮され、それが子どもたちの学びや成長につながっていく。だからこそ、個々の努力や経験だけに頼るのではなく、誰もが無理なく力を発揮できる「仕組み」として学校運営を整えていくことが必要だと考えている。
- ・本年度の目標は、令和7年度の学校評価の実施結果を踏まえて整理した。
- ・令和7年度の目標には明確に位置付けていなかった内容として、県教育委員会の令和8年度学校運営の重点課題を踏まえ、教職員の働き方改革についても新たに位置付けている。
- ・本校は現在、4年間の学校目標の3年目にあたる。これまでの2年間で、教育活動や校内体制の基盤づくりを進めてきた。その上で今年度は、その基盤を一過性の取り組みで終わらせるのではなく、確実に定着させ、全校で共有し、「仕組み」として機能させていく段階と位置付けている。
- ・視点1～5についての説明。
- ・学校運営については、教職員同士が専門性を生かしながら、無理なく学び合い、情報共有できる仕組みを整え、持続可能な学校運営につなげていく。併せて、防災・安全管理についても、地域や行政との連携を含め、子どもたちの安全を守る体制を具現化していく。さらに、ICTの活用を学校運営全体で整理し、働き方改革と教育の質の向上につながる、実効性のあるDXを進めていく。今年度は、「個々の取り組み」から「学校の仕組み」へと段階を上げていく年と考えている。
- ・本校の教育が、子どもたちの生活や地域社会としっかりつながるものとなるよ

う、委員の皆様からの意見をいただきながら、取り組みを進めていきたいと考えている。

○各グループ・学部の目標・取組紹介

・教育企画 G、学習支援 G、安全管理 G、支援連携 G

○各委員からのご意見等

・目標設定をする上で、4年間のロードマップの流れをどのように意識しているか。また、位置づけについてはどうか。

☞ ・ロードマップが令和6年度のままになっているが、必要に応じて、今後、更新していくことは必要だと感じている。今年度の目標設定では、今までの積み上げてきた成果を仕組み化して、学校の教育活動に生かしていきたい。ロードマップにも基づいて令和8年度の目標設定に反映している。

・今年度、着任した校長としては、どのような学校運営を考えているか。

☞ ・子どもたちが日常を生活している地域を大切にしていきたい。

☞ ・子どもたちが楽しく元気に生活できるためにも、教職員も元気に働くことを目指したい。

☞ ・ある程度の業務は、マニュアル化して、持続可能な仕組みにしていきたい。

・先生方の業務をマニュアル化していく中で、子どもたちが痲痺を起こしているときの対応として、他害の恐れがある場合には、逃げてほしい。マニュアルにも記載すると良い。

・教員のメンタルヘルスについてどのような仕組みが必要か。

・何か起きた時の対処ではなく、予防の方法もあった方が良い。

・こんな事をやっている、という事があれば教えてほしい。

☞ ・異動してきた者も含めて、職場全体で風通しを良くしていきたい。研修会を通して、他学部の教員同士が関わる場もつくっていきたい。

☞ ・ストレスマネジメントを図り、ディスカッションを通して情報の共有をしていきたい。また、職場の同僚性を高め、教職員間の円滑なコミュニケーションを促進していきたいと考えている。

・福祉施設の職員の異動は少ないと思うが、メンタルヘルスはどのように取り組んでいるか。

☞ ・福祉施設ではワールドカフェ方式（職員間でのディスカッション形式）で実施している。ある程度のルールのもとでの職員同士の関わり合いを行い、お互いのメンタルケアをしている。子どもたちが職員に手が出てしまうことに関しては、専門性を高めていくことにも力を入れている。

・児童生徒への指導や支援の仕方等、AIで聞くとなんでも教えてくれる時代になったが、教育においては、人と人が直接的に関わり合うことが大切であり、なぜこんな行動をするのだろうと感じ、職員間で対話し、その上で専門性を高めてほしい。ブレーキとアクセルの難しさ。舵の取り方や世代間の考えの違いもある。

・高等学校では、どうか。

☞ ・働き方改革の取り組みが進んでいる中で、何故、働き方改革を進めていくのかというと、教員が生徒とかかわる時間を増やすためにという目的を大切に考

えている。そのために事務的な作業を減らしていこうと取り組んでいる。やってみると保護者の方からの理解も進んでいっている。メンタルヘルスの一つとしての働き方改革でもある。

・学校でやっていることをどのように知ってもらえるのか。学校評価における一年間の目標や取り組みの内容には入っていないことを先生方が取り組んでいる内容もあると思う。

☞・発信方法の工夫は必要。学校ホームページの充実を図ることも必要だと思う。

・回覧板で学校新聞が回ってきている。地域の人も見ているだろう。

・学校運営委員会の評価も必要なのではないか。

○各グループ・学部の目標・取組紹介

・小学部、中学部、高等部、分教室

○各委員からのご意見等

・地域の方に相談したいことがあれば、また、知らせてほしい。

・高等部では、防犯や犯罪についての学習を行っていますか？

☞・防犯というくりではないが、ニュース等を通じて、犯罪が起きている事柄を扱う授業を行うときもある。なぜ闇バイト等に巻き込まれてしまうのか等、子どもたちの発達段階に合わせて、学習を行うようにしている。

☞・スマホ安全教室で学期に一度行っている。消費者教育は、講師を招いて行っている。

・知的障害者に特化した犯罪も増えているので、犯罪に踏み込まれないようにするために、県全体としても取組んでほしい。

・学校では、取組んでいるが今回の資料には掲載されていないこともある。

・PTA はどんな取り組みができるのか。親の立場で学校と一緒にできることを考えられると良いのでは。

・個別教育計画をモニタリングして、できないときは、目標の見直しも必要である。見直すプロセスはどうなっているのか。

☞・学校の評価ではなく本人主体のものとし、半期で策定している。

・センター的機能について、居住地交流って何の為にやるのか？かつては目的が2つあった。一つは社会性を育てる。もう一つは分離されているので、地域に知ってもらうため。相模原支援学校の交流及び共同学習はなんのために行っているのか？

☞・地域から離れているので、地域にその子を知ってもらう。入学時は学校に慣れるところを重視し、慣れてきたところで地域にとつながる居住地交流を希望する形が多い。

☞・居住地交流の目的は保護者にお話ししている。学校の大きな集団でお友だちを意識していく。居住地として知ってもらう。高学年になって始められる方もいる。

・支援学校から、地元の小学校そして、支援学校。転入や転出等する際、つながっているのか。

☞・転校した生徒でも、地域とのつながりは続けていく。

・地域で生きる共通認識は相模原支援学校として、どう評価しているのか。

- ・改善の方策についての具体が入れられると良い。この1年何をやったかを見ながら評価できると良い。シラバス等も見せていただけると良い。

【切れ目ない支援部会】

- 「地域にじいろループ」の資料を参考に、今年度の主な取り組み内容を紹介。
- 各委員からのご意見等
 - ・どのような方向性で何を行っているのかを知っていただきたい。その上で一緒に考えていただきたい。
 - ・切れ目のない支援部会はお手伝いではなく、みんなで子どもたちを育てていきたい。
 - ・横につながる「地域」と、縦につながる「社会」に出て行くこととの2つの視点がある。縦に繋がる話も出てくると良い。
 - ・それぞれからの取り組みや考え等の話を伺えると良い。
 - ・公民館としては、その都度、学校と相談しながら、協力していくことが良いと思っている。
 - ・ゴミ置き場のマナーについて。ポスターを作っていた。地域の方にも来ていただいて取り組んだ。地域の課題を意識して取り組めたら良い。自治会としても一緒に取り組めたらと思う。ペットボトルのキャップや畑の話が出ていたが、ペットボトルキャップはJAが行っている。畑も地域の方に頼むなどして、繋げられたらと思う。
 - ・以前、「株式会社ギオン」の方が、学校運営協議会の委員であった。「株式会社ギオン」は、障害のある子どもたちに対して、教育的な活動として捉え、積極的な関わりを進めていた。そのような観点を重視することが学校運営協議会として必要なのではないかとと思っている。

【防災部会】

- 令和8年度防災部会の取り組みについて、説明。
- 各委員からのご意見等
 - ・分教室の防災訓練等の状況はどうしているか。
 - ☞・高等学校と連携させていただき、発災時等に備えていきます。
 - ・市内3校の特別支援学校が連携し、福祉避難所について相模原市と役割等の確認をするとよい。
 - ・福祉避難所について、相模原市に働きかける必要があると思う。
 - ・福祉事業所としても相模原市との連携は必要だと考えている。

4 まとめ

- ・具体的にご意見等をいただき、また、本校の児童生徒の目指す姿を一緒に考えてくださり、ありがとうございました。

5 事務連絡

- ・次回は10月6日（火）を予定。詳細は後日案内を送付予定。

	<p>・令和8年8月24日（月）に本校を会場として、講師を招いて、夏季公開研修会「いざ！に備える日頃の防災～学校で、家庭で、地域で～」をテーマに実施予定。委員の皆様ご案内送付予定。</p>
<p>会議資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○令和8年度第1回「学校運営協議会」開催要項 ○神奈川県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則 ○神奈川県立学校に設置する学校運営協議会の運営等に関する要綱 ○学校運営協議会運営計画書 ○令和8年度学校運営協議会 委員名簿 ○学校教育計画（令和6年度～令和9年度） ○相模原支援学校ランドデザイン ○令和7年度学校評価報告書（実施結果） ○4年間のロードマップ ○4年間目標と1年間の取り組みの内容 ○令和8年度年間行事予定 ○コミュニティ・スクールリーフレット ○パワーポイント資料 ○令和8年度相模原支援学校 学校運営協議会部会設置イメージ（案） ○令和8年度各グループ・学部・分教室の年間運営計画・評価表 ○地域にじいろループ（本校・分教室） ○防災部会資料 ○学校新聞つなぐ第108号 ○学校要覧